

2022年12月1日

各 位

ENEOS株式会社

「ENEOS CUP 2022 第9回全日本デフバスケットボール選手権大会」がまもなく開幕！



当社（社長：齊藤 猛）が協賛する特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会（以下「JDBA」）主催の「ENEOS CUP 2022 第9回全日本デフバスケットボール選手権大会^{※1}」が、12月11日（日）に障害者スポーツ文化センター横浜ラポール（神奈川県横浜市）と豊中市立障害福祉センターひまわり 多目的ホール・体育室（大阪府豊中市）にて開催されますので、お知らせいたします。

デフバスケットボールとは、聴覚障害者^{※2}に配慮したバスケットボールです。ルールは一般のバスケットボールと全く変わりませんが、視覚的に状況を判断できるように、審判のホイッスルが鳴ると同時に、目立つ色の旗を振るフラッグマンをコートに設置して競技が行われます。

本大会は、同競技のさらなる普及・発展ならびに技術向上と共に、日本代表指定選手の発掘および人材育成を目的に開催され、全国からエントリーされた男女合わせて10チームが優勝を目指します。ぜひ試合会場にお越しいただき、この日のために厳しい練習を重ねてきた選手たちの懸命なプレーへの熱いご声援をお願いします。

長年にわたり女子バスケットボール部を運営している当社は、ENEOSグループの行動基準の一つである「市民社会の発展への貢献」のもと、「バスケットボール」を通じて、スポーツ振興や次世代の育成を積極的に推進してまいります。

※1 前身は「理事長杯全日本デフバスケットボール選手権大会」。第8回大会からENEOS CUP。

※2 「障がい者」は正しく音声変換されないことがあるため、「障害者」と表記しています。

以 上

<大会概要>

大会名	ENEOS CUP 2022 第9回全日本デフバスケットボール選手権大会 (大会要領： https://jdba.jp/jdba/3180/)
開催日	2022年12月11日(日)
大会形式	男子：6チームによるトーナメント 女子：4チーム(1チームは招待)によるトーナメント
会場	男子：障害者スポーツ文化センター横浜ラポール(神奈川県横浜市) 女子：豊中市立障害福祉センターひまわり 多目的ホール・体育室 (大阪府豊中市)
入場料	無料

本大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、JDBAのガイドライン、政府および各自治体の指針のもとに開催されます。

<試合の様子>



写真提供 「特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会(JDBA)」